

# 寺、再起動

「ゾンビ寺」からの脱出！

ほしの

さとし

星野

哲著

▼46判・並製カバー・158頁・定価

一四三〇円

2022年11月刊行



お寺と社会の間に溝ができ、人々から期待されなくなつたのはなぜか？お寺を取り巻く状況と今後の可能性について切り込んでいく。

## 【目次】

はじめに

### 第1章 社会とお寺の関係

- 1 おひとり様社会  
1、進む「おひとり様」化／2、生前契約
- 2 お寺の資本と可能性  
1、厳しい現状と希望／2、4つの資本と3つのA／3、ソーシャル・キャピタルとサードプレイス／4、遺贈寄付

### 第2章 人生の終盤を支える

- 1 死後事務委任契約を結ぶ  
1、永代供養墓を起点に／2、現在帳／3、小さなお寺でも
- 2 看仏連携  
1、地域包括ケア寺院／2、看仏連携とは／3、まちの保健室
- 3 福祉仏教  
1、福祉仏教入門講座／2、お寺と教会の親なきあと相談室／3、施設をつくる
- 4 老後や死を語る  
1、介護者カフェ／2、デスクカフェ／3、死の体験旅行／4、グリーンフケア

### 第3章 お寺に足を運んでもらう

- 1 場を提供する  
1、本堂・境内を使ってもらう／2、コワーキングスペース／3、防災拠点
- 2 お坊さんと一緒に  
1、テンプルモーニング／2、朝の勤行
- 3 イベントと告知  
1、イベントの考え方／2、地域のお寺合同で／3、寺子屋・子ども食堂など／4、知ってもらおう
- 4 お寺にとつての公共性  
おわりに

#### ◆著者略歴

星野 哲（ほしのさとし）

一九六二年、東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、朝日新聞社に入社。学芸部や社会部などで記者として活躍し、二〇一六年に独立。在社に墓や葬儀の変化に関心を持って以降、「人生のエンディングを社会でどう支えるか」をテーマに、終活や看取りなどのライフエンディングに関する分野、寺院関係の取材・研究を三〇年以上続けている。  
現在、立教大学社会デザイン研究所研究員、立教大学大学院兼任講師、世田谷区生涯大学講師、認定NPO法人「アーユス仏教国際協力ネットワーク」専門委員。毎日新聞WEB医療プレミアで「街のお坊さん 生と死を語ります」を連載中のほか、月刊会員誌『地域寺院』（大正大学出版会発行）などで記事を執筆。各地で講演活動を行う。サイト「集活ラボ」を運営する。

|                              |          |
|------------------------------|----------|
| 注文書                          |          |
| (書店印)                        |          |
| ご担当                          | 様冊       |
| 星野 哲著                        | 法藏館      |
| 寺、再起動                        | 定価 一四三〇円 |
| 「ゾンビ寺」からの脱出！                 | 住所       |
| ISBN:978-4-8318-8793-1 C0015 | お電話      |
| お名前                          |          |

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏 教